



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月1日

上場会社名 株式会社ダイセル

上場取引所 東

コード番号 4202 URL <http://www.daicel.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 札幌 操

問合せ先責任者 (役職名) IR広報グループリーダー

(氏名) 畑 理史

TEL 03-6711-8121

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	94,879	7.8	7,782	19.3	9,092	37.4	6,410	68.7
25年3月期第1四半期	87,981	6.8	6,521	7.5	6,617	△2.4	3,799	17.1

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 12,979百万円 (383.9%) 25年3月期第1四半期 2,682百万円 (△41.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	18.23	—
25年3月期第1四半期	10.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	470,349	272,914	53.1	709.79
25年3月期	461,512	262,899	52.2	685.11

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 249,639百万円 25年3月期 240,964百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	5.00	—	7.00	12.00
26年3月期	—				
26年3月期(予想)		6.00	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	196,000	10.5	16,000	17.4	16,500	20.2	9,500	32.1	27.01
通期	405,000	13.0	35,000	33.6	36,000	26.0	20,000	30.1	56.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

26年3月期1Q	364,942,682 株	25年3月期	364,942,682 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	13,232,680 株	25年3月期	13,226,066 株
----------	--------------	--------	--------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期1Q	351,713,664 株	25年3月期1Q	351,739,243 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想は、現時点で入手された情報に基づき判断したものであり、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありうることをご承知おきください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第 1 四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第 1 四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、円高の緩和や株価上昇を背景とした輸出環境改善や景気回復への期待の高まりがみられました。しかし、依然として実需の回復に力強さはなく、海外景気の下振れリスクや、為替や株価の変動など、引き続き予断を許さない状況のうちに推移いたしました。

このような環境の中、当第1四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、948億79百万円（前年同期比7.8%増）となりました。利益面では、営業利益は77億82百万円（前年同期比19.3%増）、経常利益は90億92百万円（前年同期比37.4%増）、四半期純利益は64億10百万円（前年同期比68.7%増）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

[セルロース事業部門]

酢酸セルロースは、液晶表示向けフィルム用途は横這いとなりましたが、たばこフィルター用途が増加し、売上高は増加いたしました。

たばこフィルター用トウは、網干工場の2年に1度の定期修繕を実施したことや、大竹工場で増産前に生産を停止したことにより販売数量は減少しましたが、販売価格の是正や為替の影響により、売上高は増加いたしました。

当部門の売上高は、210億19百万円（前年同期比13.2%増）、営業利益は、販売価格の是正や為替の影響などにより、42億89百万円（前年同期比25.5%増）となりました。

[有機合成事業部門]

主力製品の酢酸は、網干工場の2年に1度の定期修繕を実施したことや、高純度テレフタル酸（PTA）向けの需要減少などにより販売数量が減少し、売上高は減少いたしました。

酢酸誘導体及び各種溶剤類などの汎用品は、液晶パネル向けなど電子材料分野への販売が増加したものの、その他の需要が低迷し、売上高は横這いとなりました。

カプロラクトン誘導体やエポキシ化合物などの機能品は、電子材料向けの販売数量増加や為替の影響により、売上高は増加いたしました。

光学異性体分離カラムなどのキラル分取事業は、カラムの販売が好調に推移したことや為替の影響により、売上高は増加いたしました。

当部門の売上高は、188億62百万円（前年同期比2.4%増）、営業利益は、為替の影響などにより、16億90百万円（前年同期比29.0%増）となりました。

[合成樹脂事業部門]

ポリアセタール樹脂、PBT樹脂、液晶ポリマーなどのエンジニアリングプラスチックは、12月を決算期としているポリプラスチックス株式会社グループが事業を行っております。当第1四半期にあたる平成25年1～3月においては、自動車の生産台数減少や、電子デバイス製品の販売低調の影響を受け販売数量は減少しましたが、為替の影響により、売上高は横這いとなりました。

ABS樹脂、エンブラアロイ樹脂を中心とした樹脂コンパウンド事業は、自動車部品向けなどが堅調に推移し、売上高は増加いたしました。

シート、成形容器、フィルムなどの樹脂加工事業は、電子材料分野などで需要が低迷したものの、原燃料高に伴う販売価格は正を実施し、売上高は微増となりました。

当部門の売上高は、353億5百万円（前年同期比2.9%増）、営業利益は、販売数量の減少などにより、21億60百万円（前年同期比23.3%減）となりました。

[火工品事業部門]

自動車エアバッグ用インフレーター（ガス発生器）及びシートベルト・プリテンショナー用ガス発生器（PGG）は、北米自動車市場の拡大基調の継続や中国での日本車販売の回復などにより、売上高は増加いたしました。

発射薬、ミサイル構成部品、航空機搭乗員緊急脱出装置関連製品などの特機事業は、一部製品の防衛省による調達数量増加により、売上高は増加いたしました。

当部門の売上高は、185億5百万円（前年同期比19.9%増）、営業利益は、販売数量の増加などにより、19億62百万円（前年同期比94.1%増）となりました。

[その他部門]

水処理用分離膜モジュールなどのメンブレン事業は、排水分野向けが堅調に推移しましたが、下水道分野向けが低調であり、売上高は横這いとなりました。

運輸倉庫業など、その他の事業の売上高は減少いたしました。

当部門の売上高は、11億86百万円（前年同期比6.1%減）、利益面では、営業損失 1 億13百万円（前年同期は営業利益 1 億26百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

総資産は、現金及び預金、有価証券の減少などがありましたが、たな卸資産、有形固定資産、投資有価証券の増加などにより前連結会計年度末に比し88億37百万円増加し4,703億49百万円となりました。

負債は、未払法人税等の減少などにより前連結会計年度末に比し11億78百万円減少し、1,974億35百万円となりました。

また純資産は、2,729億14百万円となりました。純資産から少数株主持分を引いた自己資本は、2,496億39百万円となり自己資本比率は53.1%となりました。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成25年 6 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	47,005	44,482
受取手形及び売掛金	76,970	78,681
有価証券	7,741	1,027
たな卸資産	82,977	88,452
その他	17,696	16,211
貸倒引当金	△190	△134
流動資産合計	232,200	228,721
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	45,874	46,926
機械装置及び運搬具（純額）	53,663	53,288
土地	26,707	26,741
建設仮勘定	20,545	25,372
その他（純額）	2,532	2,626
有形固定資産合計	149,323	154,954
無形固定資産		
のれん	5,410	5,474
その他	8,195	8,362
無形固定資産合計	13,605	13,837
投資その他の資産		
投資有価証券	49,059	55,078
その他	17,524	17,982
貸倒引当金	△201	△224
投資その他の資産合計	66,382	72,836
固定資産合計	229,312	241,628
資産合計	461,512	470,349
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	49,896	50,190
短期借入金	19,118	20,860
1年内返済予定の長期借入金	13,211	12,873
未払法人税等	5,842	1,624
修繕引当金	3,006	725
その他	22,150	22,771
流動負債合計	113,226	109,046
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	46,768	47,242
退職給付引当金	11,834	12,196
役員退職慰労引当金	74	78
修繕引当金	70	—
資産除去債務	1,049	1,058
その他	5,589	7,813
固定負債合計	85,386	88,389
負債合計	198,613	197,435

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成25年 6 月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	36, 275	36, 275
資本剰余金	31, 579	31, 579
利益剰余金	164, 927	168, 875
自己株式	△6, 025	△6, 030
株主資本合計	226, 757	230, 699
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15, 001	17, 211
繰延ヘッジ損益	△185	△73
為替換算調整勘定	△609	1, 802
その他の包括利益累計額合計	14, 207	18, 940
少数株主持分	21, 935	23, 274
純資産合計	262, 899	272, 914
負債純資産合計	461, 512	470, 349

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第 1 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 6 月30日)
売上高	87,981	94,879
売上原価	67,698	72,404
売上総利益	20,282	22,475
販売費及び一般管理費	13,761	14,693
営業利益	6,521	7,782
営業外収益		
受取利息	80	98
受取配当金	464	535
持分法による投資利益	331	210
為替差益	—	705
その他	356	249
営業外収益合計	1,232	1,799
営業外費用		
支払利息	304	305
為替差損	583	—
その他	247	183
営業外費用合計	1,135	488
経常利益	6,617	9,092
特別利益		
固定資産処分益	4	252
投資有価証券売却益	—	1,923
特別利益合計	4	2,175
特別損失		
固定資産除却損	56	157
投資有価証券評価損	74	—
特別損失合計	130	157
税金等調整前四半期純利益	6,491	11,111
法人税、住民税及び事業税	1,647	2,229
法人税等調整額	398	2,111
法人税等合計	2,046	4,341
少数株主損益調整前四半期純利益	4,445	6,770
少数株主利益	645	360
四半期純利益	3,799	6,410

(四半期連結包括利益計算書)
(第 1 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 6 月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4, 445	6, 770
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3, 048	2, 249
繰延ヘッジ損益	8	142
為替換算調整勘定	1, 043	3, 385
持分法適用会社に対する持分相当額	232	431
その他の包括利益合計	△1, 763	6, 209
四半期包括利益	2, 682	12, 979
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	914	11, 142
少数株主に係る四半期包括利益	1, 767	1, 836

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	セルロー ス事業	有機合 成事業	合成樹脂 事業	火工品事 業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	18,562	18,424	34,295	15,434	86,717	1,263	87,981	—	87,981
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	642	4,030	4	—	4,677	2,441	7,118	△7,118	—
計	19,204	22,455	34,300	15,434	91,394	3,705	95,099	△7,118	87,981
セグメント利益	3,418	1,310	2,817	1,011	8,558	126	8,684	△2,163	6,521

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンブレン事業及び運輸倉庫業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,163百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社における基礎研究及び管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	セルロー ス事業	有機合 成事業	合成樹脂 事業	火工品事 業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	21,019	18,862	35,305	18,505	93,692	1,186	94,879	—	94,879
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	423	3,749	0	—	4,174	2,382	6,557	△6,557	—
計	21,443	22,612	35,306	18,505	97,867	3,569	101,436	△6,557	94,879
セグメント利益 又は損失(△)	4,289	1,690	2,160	1,962	10,103	△113	9,989	△2,207	7,782

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンブレン事業及び運輸倉庫業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,207百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社における基礎研究及び管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。